

ちっこいビリー

W・M・サツカレー (1811-1863)
間崎 ルリ子 訳

ブリストルからやってきた三人の水夫
舟に乗り込み船出した。

だが、まず一番に舟に積んだのは

牛肉と塩漬けブタと船長の堅パン。

大食いジャックとめちや食いジミーに

いちばん若^{わか}えちっこいビリー

やっそこすつと赤道までたどり着いたが

舟に残るはカラカラに干あがった豆一個のみ。

大食いジャックがめちや食いジミーに言うことにや

「めっぼう腹がへったわい」

めちや食いジミーが大食いジャックに言うことにや

「食うものはおれたちだけしか残つたらんぜ」

大食いジャックがめちや食いジミーに言うことにや

「ここはいつちよう考えどころ！」

おれたちや年くい、肉もかたいぜ、

ちっこいビリーは若^{わか}えし、やわらか。こいつを食おう」

「ちよいとビリーよ、おめえを殺^{ころ}して食うぜ。
シヤツをはだけて脱いだがためぞ」

ビリーはそれ聞き、その意味さと、
ポケットからハンカチ取り出した。

「その前にちよつくらお祈りさせてくれ、
その昔、母ちゃんから教わったでな」

「さあ、さあいそいだり」とめちや食いジミーはせかし、

大食いジャックはでっかいナイフを取り出した。

そこでビリーは主帆のマストにのぼって行って、

ひざまずき、頭をたれて、

十二戒まで口ずさんだ時、

とつぜん飛び上がり大声あげた。「陸だぞう！」

「エルサレムにマダガスカルに、

北アメリカに南アメリカー！」

大錨には英国の旗

ネピア大提督もおらっしゃる」

というわけで、提督の船に乗り込んで、

ジャックとジミーは吊るされて、

ビリーは提督のおおぼえよくて

第七十三艦隊の船長になったとき。

お知らせ

毎週土曜日に
「おはなしの時間」
を開いています。



3月の おはなし	小さい人 (4歳~小学2年生) 11:00~11:30	大きい人 (小学3年生~中学生) 11:30~12:00
7日(土)	梅の木村のおならじいさん	宝化け物
14日(土)	まめこじぞう	小さなこげた顔
21日(土)	ミアッカどん	チム・ラビットとはさみ
28日(土)	三びきのクマの話	ミダス王

3月の開館日							4月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4			
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

▶ ×印は休館日
 ・祝日の振替休館
 3/23、4/27
 ・館内整理日
 3/30、4/30

※閉館時は返却ポストをご利用ください。

▶ 開館時間
 10:00~18:00
 ※金曜日 10:00~20:00

移動図書館のお知らせ

4月より、一部の地域で時間変更があります。(★のついている地域)

3月	3月の移動図書館 (いずれも木曜日)					4月	4月の移動図書館 (いずれも木曜日)				
12日			福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~ 15:50	9日			福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~ 15:50
19日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20	16日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20
26日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20	塚森 地域内 15:00~ 15:20	太子 ニュータウン 公民館 15:30~ 15:50	吉福 公民館 16:00~ 16:20	23日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20	★太子 ニュータウン 公民館 14:40~ 15:00	★吉福 公民館 15:10~ 15:30	★塚森 地域内 15:40~ 16:00

地下水

たつの市の図書館を退職し、太子町の図書館に勤務してもうすぐ1年になるうとしている。同じ図書館業務ながら、はじめは覚えることが多く、手間取り、メモが手放せなかった。図書館の朝は館内の掃除から始まるのだが、4台の掃除機に分担範囲や順序、雑巾がけの方法などが細かく決まっている。本や雑誌の受入れ手順も異なる。幸いなことに図書館システムは同一のものだったが、細かい運用は違っているため、以前の職場の手順が頭をかすめ、混乱してくる。また、蔵書の構成や並び方が違うので、あるはずの本が見つからず、右往左往してしまった。

けれども、図書館員としてやるべきことは変わらない。館内を整え、蔵書をできるだけ覚えて、利用者の求める資料を的確に提供すること。今では、利用者の顔と名前が少しずつ一致して、本の感想や趣味の話をしてくださったりする方があり、そこから次の本に繋がることも増えてきた。さあ、次は子どもたちとどんな絵本を楽しもうか、新しい展示のテーマは何にしようか。新しい図書館での司書としての日々は興味深く、愉しいことがあふれている。(藤川)